

16. 警察
17. 消防団員
18. 子
19. 警察署の方
20. 警察からの連絡
21. けいさつの方
22. 近所の人達
23. 近所の方
24. 警察
25. 警察の人
26. 消防団員
27. ケアマネージャー、病院関係者、2男
28. 警察官
29. 妻、娘夫婦2家族
30. 警察
31. 本人から電話があり、本人がタクシーに乗っていたので、運転手の方に代わってもらって、警察に連れて行ってもらった。
32. 友人の友人
33. 近隣住民
34. 集落の人
35. 警察、子供、知人
36. 子
37. 消防団の方
38. 警察
39. 親戚、警察署
40. 地域の消防団の人
41. 警察
42. 親族
43. 警察
44. 消防団
45. 近所の区長3名、消防団10名、近所の方10名
46. 自宅近所の方
47. 娘
48. 警察、消防団、自治体職員
49. 警察
50. 長男夫婦、長男の子
51. 警察
52. 警察
53. 警察
54. 警察
55. 警察パトロール
56. 近隣の住民
57. 警察
58. 介護員
59. 警察
60. 息子
61. 警察
62. おまわりさん
63. 警察
64. 子
65. 近隣住民、ケアマネ、
66. 長男と妻、長女
67. 警察
68. 警察と長男
69. 友達
70. 民生委員及び配偶者

71. 息子
72. 消防団
73. 警察
74. 警察
75. 警察
76. 警察
77. 警察
78. 警察

問 53. 発見者（それ以外の者）

1. 民家家主
2. 発見場所近くで農作業していた人
3. 通りすがりの通勤途中の方が、救急車を呼んでくださって、わかりました。
4. 散歩中の人
5. 発見現場付近の方
6. 県警のパトロール
7. 狩猟をしている地元のグループの方々
8. 警察署から連絡を受けた（担当区域外の署）
9. 警察署の方
10. 最後の回は届出せずに発見できた。
11. 放送を聞いて発見した近所の方の通報によって
12. 孫
13. 警察
14. 発見された場所を通りかかった他人
15. 必ずコンビニにより 2～3 時間そこにいる。店長の方からの通報で見つかる。
16. 警察
17. 作業中の方
18. 人の車に乗っていた所を発見された。
19. 本人がつけていた電話番号を見つけた人
20. 川で発見され、川の止水せきの係員
21. 発見場所の近くに住んでいる人
22. 本人が TEL してきた。
23. 通行タクシー～警察
24. 山菜取りに来た近所の方
25. 通りかかった人が異常を感じ、警察に通報してくれた。
26. 本人の行動を不信に思った人が声を掛けてくださり、警察に届けてくださった。
27. けいさつの方
28. 警察の方、近所の方、本人が自力もあり
29. 散歩中の人
30. 田んぼをたがやしに来たその所有者
31. 警察
32. 警察官
33. 消防団
34. 亡くなっていた場所の近所の方
35. スポーツセンターの施設の人が警察に連絡してくださった。
36. 警察
37. 道に迷っていたのに気付いた発見場所近くの方
38. 近隣住民
39. ちょうど本人が警察の前を歩いて保護された。
40. 警察官
41. テレビで本人の写真を流してもらったので、それを見て気づかってくれた方。
42. 発見場所、近所の工場に勤めていた方。工場横の縁石に本人の運転する車が乗りあげたのに気づき、警察に通報したことで発見された。
43. 通行人の通報により
44. 発見場所の近所の方
45. 通りがかりの見知らぬ方

46. 転落した用水の近くの人が歩いて発見した。
47. 住民
48. 本人が自宅と間違えて入った家の人
49. ころんでいる所をご親切な方が見ていて、警察まで連れて行ってくださいました。
50. 警察に不審者の連絡があった。
51. 見かけた人が警察に届けた。
52. 施設の近くの人、えんぞの中にねていた。
53. 県外（隣町）で、事故死した為、身元が分からず、捜索願いを出していた警察より連絡があった。
54. 遠くの際は、見つけて下さった方が、警察へ届け出てくれていた。
55. 警察の方から連絡がありました。
56. 署の人
57. 警察の方
58. 最初は犬そして散歩の人(犬と同行)
59. 大分歩いたあと、タクシーに乗りタクシー会社が警察(交番)に。
60. 通りがかった方が不審に思い警察署まで送ってくれた。
61. 警察
62. 警察の方に送って来てもらいました
63. 発見場所付近住民
64. 保護された
65. 散歩中の方
66. つり人
67. 駅前のベンチに何時間も座っているのを不審に思ったタクシー乗り場のタクシーの運転手さん
68. 団地内の自宅前の山の中
69. 発見者
70. 仕事帰りの刑事さん
71. 倒れていたマンションの管理人
72. 海に転落して亡くなっていた。本人の自宅とわりと近い海ではあった●という町の人が見つけ、警察より連絡があった。
73. 青年が通報し、警察がかけつけ保護、青年は不明。
74. 狩猟狩の方の犬に見つけてもらいました。
75. 警察？電話連絡があったのは消防
76. 亡くなっていた畑の地主。
77. 人に道をたずね、その人が近くのコンビニへ連れて行ってくれた。
78. 警察
79. 花市場の守衛さん
80. 道路工事作業の人
81. 通りすがりの方
82. 通行人
83. 海で漁師の人に発見された。
84. 警察
85. 通所デイサービス職員、通りがかりの方、
86. 近くを通られた方が、様子が変と警察に連絡してくれた。
87. 近くにいた方
88. 警察
89. 隣の家の嫁さん
90. 農家の人でここは人がこない所を歩いていたので警察に連絡。
91. 早朝に付近をジョギングしていた方
92. とんりの市で事故で死くなりましたが、不明者で身元が3日目に火葬がすんで写真確認で分かりました。

問 55. 発見経過の特記事項

1. 今はデイサービスを利用しているので、運転手の方が姿を見かけたら教えて下さいます。
2. 消防団、市役所、地域の方の協力があつた。ケーブルテレビにて放映、防災無線による放送、防災ヘリの出動、近隣の商店等にポスター配布、知人、家族、親戚の協力。
3. 警察、消防団員、すぐに捜索活動してくれた。
4. (問い54欄外にSOSネットについて) そうというのが、あることすら知らなかった。
5. 警察に届けが他市警察よりの連絡で解かり迎えにいらい地域消防団、地域自治体の方々にお世話に

- なり感謝です。
6. 二日間は、警察、消防団、近所の方々に協力してもらいました。その後は、身内だけでさがしました。写真付きのたずね人のプリントを市内の商店等に願いました (200 枚位)。後は、日曜日だけは身内で集まって色々さがしました。山間部なので山は個人ではなかなかきけんなので入れませんでした。2 日間は、山の中をみなさんでさがしてもらいました。45 日後に地元も狩猟グループの方に発見してもらいました。
 7. 色々な情報が飛びかい、家族が精神的にダメージを受けました。
 8. 警察の方がすぐに巡回していただけたので、すぐに発見できたので感謝いたします。
 9. 26 年度になって、認知症のことが報道されるようになり、警察の方の理解も深まったような気がします。他の人もそうだと思います。啓発も、地域で見守っていくことが大切だと思うし、家族にとってもそれはありがたいことだと思います。今回のアンケートが何らかの形で役立つことを願っています。よろしく願います。
 10. 防災無線で呼びかけをするか、と問われたが、今回はしませんでした。夜にひょっこりタクシーに自分で乗って帰宅してきました。
 11. 防災無線の利用は有効であった。
 12. 捜索にあたり色々な方の協力を得て (亡くなってはいましたが) 無事に発見出来て感謝しています。
 13. 救助犬協会、初日から願えば良かった。
 14. 家族が探し回る事が多かった。警察に頼むと、包括支援センターから中傷される為
 15. 警察に捜索依頼し、タクシーその他、ラジオにて、公に報じて捜索手段をうながしてもらいました。警察犬は出勤してこちらに向かわれている間に、自宅近くの大きな建物の西方の田んぼの畦道にすわり、冷たくなった本人を警察署の方に見つけて頂きました。無事に見つけて頂き本当にありがたく感謝しております。
 16. その時は、ネットの事を知らなかった。
 17. 川で遺体で見つかり警察に保管され、解剖に 1 週間、さらに DNA 鑑定と葬儀まで 1 ヶ月以上かかった。DNA 鑑定が時間がかかり、必要性があるのか (あととのためかも知れないがスピーディーにできないものか)
 18. いつも本人から目をはなさない。
 19. この欄にかくのが適切かどうかわかりませんが、警察に捜索願 (3 回届) たのみにいったところ、過去の保護歴はのこってても、本人の写真は保護されたら消去するというので、当時、ケイタイには顔写真入れてなかったの「なぜ?」と思いました。認知症の場合は、他のこととはちがって、消去せずにしてほしかったです。
 20. けいさつにすべてお任せしました。
 21. 警察の方が犬を出して下さり、若い警察の方が多数で? してくださった。
 22. 夜 10 時すぎたのであきらめて家にいたら、夜中三時ごろ警察から遺体が見つかったのを見てきて欲しいと連絡があり見に行ったら本人でした。
 23. 地域は全く何もしてくれませんでした。もっともっと地域ごとで、老人や認知症等の方へネットワークや活動を分かりやすく発信してもらおうと、本当に心強いと思います。警察もパトカーだけの捜索ではなく、もっと細かいとこまで探して欲しかったです。GPS の推奨も、もっと促して欲しい。知ったら早く使用してました。(クツなど)
 24. 温泉地の防犯カメラにより、本人が出ていった事がわかった。当初、向かったであろう方向と逆の方向を本人が歩いたため発見が遅くなった。あと移住地から遠いところでの行方不明となり、家族の者が探せなかった。警察に届けをださないと、ネットワークが使えないのはちょっと残念であった。本人が行方不明になったところから 10K も歩いたので、探す範囲が難しいと思った。行方不明になってから早い時間に見つけないと捜索する範囲が増えると思った。
 25. 積極的に、警察や鉄道会社の防犯カメラなど見て下さいと依頼したが、協力を得られなかった。地域の防災放送も数日後に動いた。人の命がかかっているのに、動きが遅い。鉄道会社の防災カメラだけでも、行き先を確認するのにも、必要だったのに、それも NO とつきつけられた。
 26. ディサービスの職員が帰宅していたので、捜索の協力してもらえなかった。以前にも本人が行方不明になった事があったので、たよりにできる人が居れば良かった。警察に捜索願を出したが、生きて発見されることは無かったので残念だった。
 27. 市街地ではない、田園風景ののこるところなので、なかなか発見できなかった。夜になると人影もみにくくなり、徘徊か、用事で歩いているのか周囲のものはわからない。
 28. 警察以外に、早朝から警ら団の方々が捜査に加わることを聞き、申し訳ない気持ちでした。町内の区長に連絡をしたり、ケアマネに話したりと忙しく、こういうことが続くと、肩身が狭い暮らしになるような気がして不安になりました。痴呆老人の存在をオープンにして、徘徊をみかけたら近所の人からすぐ家族に連絡が入るようにすると心強いですね。

29. マスメディアに写真を流してもらったことが発見につながりました。
30. 日曜日だったので、市役所は休日だった。
31. 行方不明になったら、一刻も早く、警察（交番）に電話して事情を伝え協力をもらうこと。
32. 最近のご親切な方に助けられ、発見できているのは有り難いと思っております。
33. 認知症であるかどうか。わからない方が散歩又は徘徊がわからずなかなか迷子になっていても親切に訪ねて下さるかたもおられないと思います。
34. 行方不明と気づいてから、警察に届けて、消防団が動くまでに丸1日かかった。発見されてとても感謝していますが、死亡していたので、家族としてはもっと早い連携ができなかったのか、悔やまれる思いもある。
35. 警察への捜索願いと防災無線での捜索方法。
36. 近所の方の応援がありがたかった、以後、ちちを見守って下さっているので心強い。〇〇付近にお父さんがいますと、電話が来る。
37. 街頭放送を流してくれるまでに時間がかかった。一度きりだと聞き流してしまうので何度か流してほしかった。上記に関しては何度かお願いをしに行った。
38. タクシーの運転手さんが交番に行ってくれてわかりましたが、その前には(2 3時間位前) 警察に連絡してたのに、区が違っていたため、交番には連絡が入っていなかった。それには不満があった。タクシーを利用することも可能性があることを伝えていたのに、タクシー会社もわかっていなかった。
39. 警察から消防へ情報提供し、発見時の連絡体制をとってもらっていた。
40. 母の事ではなくって発見され残念な思いがあるが、全国には行方不明で不安で探されている家族も多いので、発見され供養もでき感謝している。
41. 全てが協力的で迅速に行動してくれました、とても感謝しています。
42. 本当に大がかりな捜索で皆様に申し訳けない気持ちと感謝でいっぱいでした。
43. 行動が予測不可能なので何ともならない
44. 顔写真をのせたちらしを作成し市内の店頭等に張らしてもらった。
45. 出入り口の監視カメラで調べて下さいと言ったら、プライバシーの侵害の為調べることが出来ませんと言われました。その後10時間後、調べたら入口から出て行くのがわかりましたと言われました。もう少し早く調べていただければと思います。(大きな病院だからこそ家族には冷たく感じました)
46. 警察の方からラジオに頼みますかと聞かれたので、お願いしました。
47. 2013年に不明になり見つかってから後にテレビで認知症の行方不明者が1万人とさわがれだしてうちもその1人だったんだと知りました。その当時はまだ何もそのことに力を入れていない頃で、自分達家族で考えて警察犬や防犯ビデオなど警察の方に協力していただいていたのですが、こういう場合にはどうしたらいいというアドバイスがあればありがたかったと思いました。どうしていいのかわからなく思いつくままに行動して毎日さがし回りました。こちらがお願いしないとだめなので方法を教えてくれる部署があれば助かると思います。
48. 鉄道会社の防犯カメラが役立った。上りか下りにのったのかもホームでわかれば範囲は半分にしぼることができたと思った。40km離れた場所でみつめてくれたのは、近くでストリートバスケットをしていた青年達だった。異変に気づき携帯で電話を警察にしてくれた。これがなければ発見に至らなかった。青年の行動に助けられた。
49. 近所親類などみなさんがたすけて下さいました。しかし、一緒に生活しているとボテてきたのは、わかりやすかったです。あしきつはしていたので「少しおかしいんで」と言っていました。あまり気付いてはもらえませんでした。家族がボケたと言っても何もさせなかったから行方不明になったと言う方もいて、大変ショックでした。
50. 行方不明時の数日は、警察や施設の職員も多くの方が探してくれましたが、すぐ年末年始の休みに入り、不十分なまま月日が流れ、発見時は、死体もかなり損傷が激しくて家族も見れないまま火葬しなければいけない状況でした。
51. 数回不明になったが、一般の方が様子がおかしいと感じ警察、消防等へ通報していただいた。

問 58. 発見後の経過の詳細

1. 病院で点滴をしてもらい、帰宅しました。
2. 現在も金銭的に施設入所はかなり難しいのが現実なので、自宅で介護し、見守っている状態です。
3. 市役所へ申請し「要介護3」と判断され、デイサービスへ行く。
4. ショートステイに入所した
5. デイサービスの回数を増やしました。

6. 入所後、肺炎で病院へ入院した。
7. ころんでいた時には、ほっぺたと左手を打撲して（あざがこい）おりましたが、次の日にかかりつけの整形外科の先生に診察していただきました。
8. 相変わらず1日散歩している。デイサービスを利用するようになった。
9. もともとの居住地へは帰れない。娘の家に帰った。
10. 胃かいようになった
11. 今までと同じ生活をした
12. 当時はすり傷だけでしたが頭を打っていたかも知れなくて2013年7月29日に右(?)慢性硬膜下血腫で脳の手術を受けました。
13. 治療が必要。投薬
14. 冬の夜中にいなくなった時は、いなくなった事に気づいたから4、5時間後にみつきり、身も冷えていたため一日だけ入院する。
15. 帰れなくなってからは、遠くへ行かなくなった。介護認定の申請をしました。

問 58. 現在の状況の詳細

1. デイサービスを週5回利用して改善している。
2. 8月末に誤嚥性肺炎で入院し、9月上旬に少し回復しましたが、9月末に窒息で亡くなりました。
3. 平成25年の9月に一度いなくなったのを機会に入院して4ヶ月間精神科で、その後、ケアハウスに入所。H26.12月末に病気うつ病再発の為、現在は入院中(精神科)
4. 精神科で様子を見ている
5. 現在介護認定3。自宅にて私(長女)がみています(介護している私(66才)は働きに出たいと日夜考えていますが、現在66才の介護人は現金収入得たい為)。病院へは月1~2回受診して、デイサービスへは週3回通所させて頂いてる状況です。できれば入所(デイサービス)を週4回にしたいのですが、介護人(66才)の長男が他界してるため経済的に無理なので。
6. 自宅+デイサービス+ショートステイで対応している。
7. ショートステイとデイサービスを最大限利用している。
8. 市、グループホーム
9. デイサービスを週2回、受けるようになった。その後、週3回受けるようになった。
10. 娘夫婦と同居し、デイサービスを利用し、在宅で生活しています。
11. ひとりにならないよう、必ずだれかを留守役に依頼している。
12. 肺炎
13. デイサービスを利用
14. 家にいる時間を減らすため、デイサービスの日にちを増やした
15. 最近は横になって寝ている時間が長くなりました。
16. 元気で毎日徘徊をねらっています。
17. 母が入院のためグループホームへ、2014年7月に入所。母は9月に退院したが、そのまま入所している。
18. 症状が進み、現在は、要介護3です。

問 59. 発見後の経過の特記事項

1. できるだけだれかがそばにいるようにしている。・デイサービスに週2回通い、家族の者が家の仕事を落ち着いてできるようにしている。本人はいやがらずに通所し、笑顔が見られる。
2. 施設には入所しなかったのですが、デイサービスを週5回に増し、土日などは、目を離さずに注意して見ているようにした。時々、ショートステイサービスも利用させてもらっている状況です。
3. 発見後、見守りの携帯電話(GPS付きを契約し、常時ハンドバッグに入れて外出して、帰りが遅いときなど利用していました。行動をとめるのではなく、思うようにしてもらおう方が認知症がすすまないときいたので、この頃は、いつも夫婦二人で毎日のように外出していました。私の家の留守電ボタンをずっとつけて、いつでも何でもかかっているようにしました。その後、一人になった母が、1度外出し、自分がどこにいて、どこに行こうとしているのかわからなくなったことがありましたが、見守り携帯で探し当て、事なきを得ました。きのうまで、ふつうにできていたことが、今日、わからなくなるのが認知症であり、老いだと思います。外出していく父母を見送りながら(私には仕事があるため)事故なく無事で帰ってきてくれますように、街の皆さま、お願いしますと祈ったものです。皆、親切にやさしく接してくれて、父母と同行したときには感謝の気持ちをかわる人たちに言って回りました。父母が認知症がみだると話してしまうと、意外とみなさん、やさしく、よくして下さい、協力もしてくれました。

4. 高齢者が安心して暮らし、老いていけるようよろしくお願いします。
5. 16:00頃、駅構内の混雑の中ではぐれた。本人は●で●方面に帰ろうと思っていたと思われるが、反対方向の●方面(●)に乗った様で、終点で降りて自宅に帰るつもりでさまよっていたところを、翌日の12:00頃、県警のパトロール車で発見された。16:00頃ははぐれる。以降翌日の朝まで警察に届けると共に、娘を呼び、付近を捜す。翌日、10:00頃●署へ捜索願を出す。12:00頃、●県警より、発見の知らせがあり、16:00頃、引き取り帰宅。徘徊について見てる私も大変ですが、本人もただ歩くことで向きもわからず、夏の場合、はだかで着ている物もクツもぬいでただ歩くことなのです。私も今80才、いつまで見る事が出来るか私が認知症になったらと思うと心配です。
6. 入院は3ヶ月でことわられ、今は3カ所目で入院しています。現在の病院で、一度退院のことを聞かれましたが、どこに入院出来るのか聞きたいです。ショートステイもいいですが、老人ホーム、老人病院の事を考えて下さい。経済の事も心配ですが、そこは頑張ってください。在宅介護は大変です。我が身になってわかりました。20年精神科に勤めていましたが、こんなに今の制度に苦勞するとは思いませんでした。在宅介護をしてみないとわかりません。介護制度をみなおしてもらえれば幸いです。家族による殺人事件が多くなりませんか。本人への見守りと声かけをして絶対に1人にはしない。介護サービス利用して本人が楽しく毎日自宅で生活している。同じ部屋で孫(20才)と一緒に寝ている。まだ失禁等には至らず、ホットしている所です。
7. 発見後は入院治療をして約1年間は自立でケアハウスにいて落ち着いていましたが、何かのきっかけなのか病気が再発、薬を飲んでいなかった為なのか(精神薬)不明ですが、又妄想が出て(家族からのいじめ→本人曰く声だけ聞こえて悪口とかうるさくずーとさわいでいるらしい、あとお金を取られたとか、家が焼かれたとか)入院療養中、うつ病と認知症は違うにか!?
8. 医師より死亡証明書が出るのに時間がかかった。地域包括支援センターに相談しても、相談員が替わると最初からの話をしなくてはならず、時間と対応方法の仕方が判りにくくなる。台帳処理をするようにしてほしい。
9. 行方不明になった場所から約50mのところまで死んでいた。誰かが捜したと思いで、それ以外の遠くを捜していた。もっと捜索活動の連携や、救助犬協会(無料)をせめて2日目から利用すれば良かった。
10. 捜索願を出すと、自治体の包括支援センターの担当者から各所に家族を中傷する手紙、電話を広められ、大変迷惑し、精神的にも困ばいた。症状が軽度の初期の段階から、いきなり精神病棟への入院を求められ、費用も高額で本人の人格を尊重しなかった為、断ると、家族の人格、経歴等、誹謗中傷する手紙を関係先に配る等、包括支援センターの担当者に嫌がらせを受けた。例えば、「認知症の原因は妻子のせい」などの記述がある手紙を医師に内緒で送付したりしていた事がわかり、家族は精神的に大変な打撃を受け、生活もままならず、結局、精神科病棟に入院させるしかなくなった。本人の介護より、むしろ包括支援センター職員の中傷により家族は疲れ果ててしまった。
11. 国あるいは県・市への要望 老人介護等々関係している方々にぜひとも考えて頂きたいお願いがあります。要望です。質問にはない件についての余計な事ですが、是非検討し、考えて頂きたいことがあります。本人の年金は月34,000円弱、医療費、デイサービス、おむつ代で年金はなくなります。どうにかして頂きたいです。本人は国民年金のみの収入(1ヶ月当たり34,000円弱です)。これではデイサービス週3回利用、紙オムツ、医療費、薬代でもうなくなってしまいます。家族の負担は大変です。金銭面だけでなく、精神的にも本人が先になるか、介護人が先に倒れるか?という状況にあります。なんとか気力で頑張ってますが、現実は大変です。子供は親の面倒をみるのが当たり前の事、自分が今まで育てて頂いた親に対して、有り難いとは十分わかってはいるものの、ついつい昼も夜もなかなか、気を休める時間があまりにも。不器用な為か少なく、疲れ切ってしまう自分がいます。経済的に余裕があれば、又、別なのでしょうが・・・そんな中で3年前に母を自宅で看とり、あの世へ旅立たせました。母は私の手で介護してここにこ顔でした。
12. 感情、表情もなくなりつつあり。思考も。事が起きて落ち着くと一定時期、おとなしくなる。季節の変わり目など注意が必要。うまく利用機関をつかい、これからは過ごしていくつもりです。
13. 油断しないこと。居場所を確かめる。
14. 本人は何もわかってません。
15. 発見後は、以前のように出歩かなくなったが、その分体力が(特に歩行する力)もなくなって来ている。
16. 「神社まで行っても良い?」と聞いてくれる事が多くなった。
17. 現状では、周囲の人々、家族などで、手分けして可能な限り、見守り、付き添いをしています。わずかな時間、一寸の時間でも一人になると、外出しないかと心配しています。本人の自覚が全くない為、対処に困り、今後入所介護を考えています。
18. 本人は自分が徘徊したという思いが無い様子なので、行動を見守り、介護するものが気を付けていたので、一晩みつからない以後はだんだん体力が弱り徘徊がなくなった。
19. 病院に行くことをしぶしぶ承諾して、現在は進行止めの薬を飲んでる。2ヶ月に1回通院してます。

今のところ、徘徊はしていません。

20. (家族で) 11日間毎日探しました。感じたこと。高齢者だからかもしれませんが、捜査に非協力的でした。行方不明の場合、心あたりを探しますが、電車でいった場合、などは、情報協力を依頼したい。たらいまわしにしたり、拒否したりしないで、協力してほしい。防災センターの放送も警察の許可がないと言われていましたが、その警察からの許可をいただくのも日数がかかった。消防団に依頼するのも迷惑になるからと市からも拒否されてた。「人の命」がかかっているのだから、協力をもっとスピーディーに受けてほしい。経験として、希望すること◎救助犬とか利用できないのか(民間)・結果的には鉄道会社の防犯カメラは見せてもらっていません。忘れ物の杖から、その電車に乗ったのを確認できた。防犯カメラで早く確認できていれば、助けられたかもしれません。それが残念です。悔しいです。鉄道会社線駅の担当者から拒否されました。※何度も何度も確認以来したのに(心あたりがあったので)◎今でも怒りお不信感があります。(警察の対応と鉄道会社)※・・駅の担当者と・・県・・市の警察の方には、確認していただき、乗った時間と改札食いを通ったのが確認できました。捜査がスピーディーでしたので感謝しています。
21. 発見場所での検死、警察での検死、病院での検死と続き、主介護者の息子が面会できたのは、発見から約5時間後であった。
22. 急性すい臓炎の手術で1ヶ月入院その後10日目に行方不明になりました。約30時間後(次の日)に発見。警察から連絡をいただきました。約1年半が過ぎましたが、今は週3日デイサービスを受けていただいています。
23. 警察に届出をしなかった行方不明も数日ありましたが、本人が住所電話番号など、よくわかっていて、自ら連絡をしたり、ことなきを得た感じです。方向、位置などだけが衰えているのが今となってはわかりますが、当時はそれが、認知症とは思えなかったのだから、少し油断をしていたのかもしれない。何回かの行方不明の後、本人も納得して、施設入所となり、介護者の妻とともに、二人で入所しています。
24. 早朝、未明の散歩で行方不明となるケースが多かったが、家のチェーンロックをし、外出できなくすることによるストレスが不安でためらっておりました。H25年10月からチェーンロックをし、朝3時半から4時起床に長男(私)が、あわせて、リビングで過ごすようにしました。結果、警察のお世話になることが0件となり、私も早朝の勉強にあてることができました。
25. 交通事故も心配でしたし、判断力低下していたので、電車を止めることも想定しましたが、夏の徘徊だったので脱水状態も怖かったです。入院とまでいかずに良かったです。このことがきっかけで、玄関に鍵をかけるようにしました。要介護度と介護家族の負担度がズレているのを感じ、鍵を取り付けるしか方法はありませんでした。24時間の見守りは無理なので、デイサービスへの回数を増やしました。
26. 2年前徘徊を一度して以来、GPSをつけたり、町内の人に1件ずつお願いに行ったり、家のうち、外に鍵をつけなおしたり、ほぼ24時間見守りをする等して、その後は一度も徘徊は一度もなくなりました。
27. 10年前まで、●市に住んでいたが、あそこだったら、今回のような地域協力は得られなかったと思うし、そんな意味では田舎に越してきて、近隣の人々にずいぶん助けられたし、老人会の行事や地域の行事に参加させて貰い、親しく声掛けをしていただいたので、自分ひとりでもめげずに介護できたと思っている。本人の症状を隠さずに近隣の人に話して理解を求めたのもよかったと思う。
28. 以前と変わらない日常生活を送っているが、日々の生活では支援しなければならないことが多くなっている。また小生(夫)に頼る様子が増してきた。
29. 特に、本人確認すべき物がなく、死亡時の写真を警察で見せられたが顔がむくんでいたのだから、判断ができず、DNA検査で判明。1/19日に家を出、その日(夜9:25)死亡。本人確認ができず結果最終的に、9月に判明。
30. 独りで散歩に生かすことができず、常に午前、午後といつて散歩に出かけています。(一緒)。勝手に散歩に出かけて帰れなくなるのだから玄関の施錠をしています。出られないように。
31. デイサービスに行くようになり、おむつの着替えもあまり抵抗なくしてくれるようになった。夜中に起こされるが、外に出て行かなくなった。介護保険でセンサーマットをレンタルしたので、安心して眠れるようになった。お風呂にも入れてもらえて、体のケアもしてもらえて、徘徊でみなさんにご迷惑をかけたが、デイサービスを利用するよいきっかけになった。絶対車に乗らない人なので、デイサービスをあきらめていたが、職員の方の誘いはすんなり受けて車に毎回のつてくれる。驚いている。
32. 多くの方にお世話になりました。大変感謝しています。
33. GPSの使用。徘徊ネットワーク

34. 行方不明は何度もあり、警察へ届けるまでに家族で捜して発見したことも含めるのか。最近の一年間は警察にお願いすることはなくなった。本人の歩行も不安定になり長距離移動困難、自宅付近で発見されることが多くなった。
35. 徘徊してしまった自覚がないので、責める事もできずストレスが溜まる。気の安まる時がない。在宅介護を進めているが、本当の大変さを全くわかっていない！！介護疲れでの殺人が増えるだけ…。夫とふたりで4人の親(3人は認知症)を見送ることができるのだろうか・・・。
36. 車の発見が1ヶ月経過してしまった。
37. 外出しなくなった。(家の前の散歩)
38. 子供より悪いです
39. 相変わらず自由に自転車で徘徊している。雑草を道端で摘み、時々他の家に入って花、野菜をとってくる。食事は特にご飯(米)はしっかり食べているが、やせ細っていく。
40. 遺体発見が午前7時、警察の検視等の後遺体を引き取ったのが午後3時だった。時間がかかりすぎだ！
41. 私は介護の仕事をしているので、もっとこうすれば良かったと反省してましたが、1年過ぎ少し落ち着き、その時は一生懸命頑張っていたので、判断力がなかった様です。認知症の母と、介護する家族のケアも大切だと思います。経験を生かしてサポートしていきたいです。
42. 天気がいいとソワソワしているのでなるべく家の中で過ごす様に声かけしている
43. 発見され司法解剖を行なった。
44. 発見後は1日も早く遺体を返してほしいです。行方不明になってしまっからは警察の人が心強く頼り、協力していただき感謝しています。この事で一番強く感じたことは、認知症は最初に診断を受けた病院が大事で包括センターがもっと深刻に考えて最初の判断をしてほしいと思います。いい時を見てすべての判断せず足が丈夫だから要支援1で。週一回しかデイサービスを受けられず、症状が進んでいても要支援1で結果行方不明になり亡くなりました。一人ぐらしでも自分が住んでいた場所が一番いいのだからそこでずっと暮らせるようになればいいと思います。
45. ケアマネジャーに相談したが具体的な解決にいたらなかった。私(長男の妻)が働き、ショートケア施設をさがし、週の半分は利用している。残りの半分は、本人の妻が介護しているが、疲れはてている。家にかぎを全部かけて中にいる状態。次、同じようなことがあれば、生死にかかわると不安である。
46. 発見当日入院後在宅にて、デイサービスを週4回利用して生活している。
47. 親子げんかから始まった行動であり、あの当時は認知症になっていることを理解してあげられなかったので、母もあのような行動をとってしまったのだと思います。もっと早く気づいていればよかったと思います。今は神経内科で出しているお薬でだいぶ安定しています。ご迷惑をおかけしました。ありがとうございます。
48. 何時も目がはなせない。一人にできない。話もまともな話し合いができない。一方的に話すことが多い。人の話を聞き入れない。
49. 深夜
50. 徘徊していた意識がないようで、帰宅してから遅い夕飯を普通に取、次の日朝から元気にデイサービスに行きました。
51. 問29：1度受診して、1年後に再度行くことになっていたがその前に他界。問32：徘徊はなく、今回のみ。
52. となりの市での軌道内での事故で死なり身元不明でしたので、火葬も終わり写真確認で分かりました。身元不明者は何日で火葬されるのでしょうか・・・。警察はどの範囲で、連絡を取っておられるでしょうか？5年間の間にたくさんの方に連絡を受けました。ありがとうございます。個人情報で礼がいえず本当にありがとうございます。

資料 2. 自治体調査単純集計

		度数	列の N %
回答者 高齢者本人	なし	15	93.8%
	あり	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
家族	なし	10	62.5%
	あり	5	31.3%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
ケアマネジャー	なし	11	68.8%
	あり	4	25.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
地域包括支援センター	なし	10	62.5%
	あり	5	31.3%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
その他	なし	14	87.5%
	あり	1	6.3%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
自治体のみで記入	なし	10	62.5%
	あり	5	31.3%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明時の年齢	65歳未満	0	0.0%
	65～69歳	0	0.0%
	70～74歳	4	25.0%
	75～79歳	3	18.8%
	80～84歳	5	31.3%
	85～89歳	2	12.5%
	90～94歳	1	6.3%
	95歳以上	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明者の性別	男性	8	50.0%
	女性	8	50.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明者の身長 (cm)	144	1	6.3%
	145	2	12.5%
	149	2	12.5%
	150	1	6.3%
	155	1	6.3%
	163	2	12.5%
	165	2	12.5%
	170	1	6.3%
	無回答	4	25.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明者の体重 (kg)	37	1	6.3%
	45	1	6.3%
	48	1	6.3%
	50	1	6.3%
	53	2	12.5%
	54	1	6.3%
	60	1	6.3%
	64	1	6.3%
	65	1	6.3%
	70	1	6.3%
	75	1	6.3%
	無回答	4	25.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明前の体重の変化	あり	1	6.3%
	なし	7	43.8%
	わからない	6	37.5%
	無回答	2	12.5%
	合計	16	100.0%

	度数	
行方不明前の体重の変化 増減 減少		1

	度数	
行方不明前の体重の変化 (kg) 10		1

		度数	列の N %
Barthai Index 食事	自立、自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終える	13	81.3%
	部分介助（たとえば、おかずを切って細かくしてもらう）	2	12.5%
	全介助	0	0.0%
	わからない	1	6.3%
	合計	16	100.0%
車椅子からベッドへの移動	自立、ブレーキ、フットレストの操作も含む	10	62.5%
	軽度の部分介助または監視を要する	3	18.8%
	座ることは可能であるがほぼ全介助	0	0.0%
	全介助または不可能	0	0.0%
	わからない	3	18.8%
合計	16	100.0%	
整容	自立（洗面、整髪、歯磨き、ひげ剃り）	6	37.5%
	部分介助または不可能	8	50.0%
	わからない	2	12.5%
	合計	16	100.0%
トイレ動作	自立（衣服の操作、後始末を含む、ポータブル便器などを使用している場合はその洗浄も含む）	7	43.8%
	部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する	7	43.8%
	全介助または不可能	1	6.3%
	わからない	1	6.3%
合計	16	100.0%	
入浴	自立	5	31.3%
	部分介助または不可能	10	62.5%
	わからない	1	6.3%
	合計	16	100.0%
歩行	45M 以上の歩行、補装具（車椅子、歩行器は除く）の使用の有無は問わず	15	93.8%
	45M 以上の介助歩行、歩行器の使用を含む	0	0.0%
	歩行不能の場合、車椅子にて 45M 以上の操作可能	0	0.0%
	上記以外	0	0.0%
	わからない	1	6.3%
合計	16	100.0%	
階段昇降	自立、手すりなどの使用の有無は問わない	12	75.0%
	介助または監視を要する	2	12.5%
	不能	0	0.0%
	わからない	2	12.5%
合計	16	100.0%	
着替え	自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む	6	37.5%
	部分介助、標準的な時間内、半分以上は自分で行える	5	31.3%
	上記以外	4	25.0%
	わからない	1	6.3%
合計	16	100.0%	
排便コントロール	失禁なし、洗腸、坐薬の取り扱いも可能	9	56.3%
	ときに失禁あり、洗腸、坐薬の取り扱いに介助を要する者も含む	3	18.8%
	上記以外	2	12.5%
	わからない	2	12.5%
合計	16	100.0%	
排尿コントロール	失禁なし、収尿器の取り扱いも可能	6	37.5%
	ときに失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する者も含む	6	37.5%
	上記以外	2	12.5%
	わからない	2	12.5%
合計	16	100.0%	

		度数	列の N %
IADL 電話を使用する能力	自分から電話をかける（電話帳を調べたり、ダイヤル番号を回すなど）	0	0.0%
	2, 3 のよく知っている番号をかける	0	0.0%
	電話に出るが自分からかけることはない	6	37.5%
	全く電話を使用しない	5	31.3%
	わからない	4	25.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
買い物	全ての買い物は自分で行う	0	0.0%
	小額の買い物は自分で行える	2	12.5%
	買い物に行くときはいつも付き添いが必要	2	12.5%
	全く買い物はできない	10	62.5%
	わからない	2	12.5%
合計	16	100.0%	
食事の準備（女性のみ）	適切な食事を自分で計画し準備し給仕する	0	0.0%
	材料が供与されれば適切な食事を準備する	0	0.0%
	準備された食事を温めて給仕する、あるいは食事を準備するが適切な食事内容を維持しない	0	0.0%
	食事の準備と給仕をしてもらう必要がある	6	75.0%
	わからない	2	25.0%
合計	8	100.0%	
家事（女性のみ）	家事を一人でこなす、あるいは時に手助けを要する（例：重労働など）	0	0.0%
	皿洗いやベッドの支度などの日常的仕事はできる	0	0.0%
	簡単な日常的仕事はできるが、妥当な清潔さの基準を保てない	0	0.0%
	全ての家事に手助けを必要とする	0	0.0%
	全ての家事にかかわらない	6	75.0%
わからない	2	25.0%	
合計	8	100.0%	
洗濯（女性のみ）	自分の洗濯は完全に行う	0	0.0%
	ソックス、靴下のゆすぎなど簡単な洗濯をする	0	0.0%
	全て他人にしてもらわなければならない	5	62.5%
	わからない	3	37.5%
合計	8	100.0%	
移送の形式	自分で公的機関を利用して旅行したり自家用車を運転する	1	6.3%
	タクシーを利用して旅行するが、その他の公的輸送機関は利用しない	0	0.0%
	付き添いがいたり皆と一緒に公的輸送機関で旅行する	3	18.8%
	付き添いか皆と一緒に、タクシーか自家用車に限り旅行する	4	25.0%
	まったく旅行しない	3	18.8%
	わからない	5	31.3%
合計	16	100.0%	
自分の服薬管理	正しいときに正しい量の薬を飲むことに責任が持てる	0	0.0%
	あらかじめ薬が分けて準備されていれば飲むことができる	1	6.3%
	自分の薬を管理できない	12	75.0%
	わからない	2	12.5%
無回答	1	6.3%	
合計	16	100.0%	
財産取り扱い能力	経済的問題を自分で管理して（予算、小切手書き、掛金支払い、銀行へ行く）一連の収入を得て、維持する	0	0.0%
	日々の小銭は管理するが、預金や大金などでは手助けを必要とする	3	18.8%
	金銭の取り扱いができない	10	62.5%
	わからない	2	12.5%
	無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%	

		度数	列の N %
行方不明時の居所	自宅 同居者あり	16	100.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
自宅の居住期間	認知症（疑いを含む）になる前から住んでいて、改築もしていない	8	50.0%
	認知症（疑いを含む）になる前から住んでいたが、改築した	0	0.0%
	行方不明になる前に転居してきた	3	18.8%
	その他	1	6.3%
	わからない	3	18.8%
	無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%	

		度数	列の N %
行方不明時の世帯状況	夫婦のみの世帯	8	50.0%
	夫婦と未婚の子のみの世帯	1	6.3%
	ひとり親と未婚の子のみの世帯	1	6.3%
	三世帯世帯	3	18.8%
	その他の世帯	2	12.5%
	わからない	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
介護状況	老老介護	そうである	11 68.8%
		そうではない	5 31.3%
		わからない	0 0.0%
		合計	16 100.0%
認認介護		そうである	0 0.0%
		そうではない	16 100.0%
		わからない	0 0.0%
		合計	16 100.0%
本人以外の認知症の人		そうである	0 0.0%
		そうではない	15 93.8%
		わからない	1 6.3%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
介護保険の申請	していた	11	68.8%
		していなかった	5 31.3%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
要介護認定の結果		要介護1	2 18.2%
		要介護2	3 27.3%
		要介護3	4 36.4%
		申請中	2 18.2%
		合計	11 100.0%

		度数	列の N %
行方不明時の介護保険・福祉サービス	訪問介護	なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
	訪問看護	なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
	訪問入浴	なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
	訪問リハ	なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
通所介護	なし	9 56.3%	
	あり	6 37.5%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
通所リハ	なし	15 93.8%	
	あり	0 0.0%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
短期入所	なし	12 75.0%	
	あり	3 18.8%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
地域密着型サービス	なし	14 87.5%	
	あり	1 6.3%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
居宅介護支援（ケアマネジメント）	なし	14 87.5%	
	あり	1 6.3%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
特養など入所施設	なし	15 93.8%	
	あり	0 0.0%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
配食サービス	なし	15 93.8%	
	あり	0 0.0%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
その他	なし	14 87.5%	
	あり	1 6.3%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
利用なし	なし	9 56.3%	
	あり	6 37.5%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	
わからない	なし	14 87.5%	
	あり	1 6.3%	
	無回答	1 6.3%	
	合計	16 100.0%	

		度数	列の N %
行方不明時の医療保険サービス	通院・在宅精神療法	なし	10 62.5%
		あり	5 31.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
精神科ショートケア		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
精神科デイケア		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
精神科ナイトケア		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
精神科デイ・ナイト・ケア		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
重度認知症デイケア		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
精神科訪問看護		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
その他医療保険サービス		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
利用なし		なし	7 43.8%
		あり	8 50.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
わからない		なし	13 81.3%
		あり	2 12.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
認知症高齢者の日常生活自立度	自立（認知症ではなかった）		0 0.0%
	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している		3 18.8%
	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多?見られても、誰かが注意していれば自立できる		1 6.3%
	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする		2 12.5%
	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする		6 37.5%
	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする		1 6.3%
	わからない		3 18.8%
	無回答		0 0.0%
	合計		16 100.0%

		度数	列の N %
障害高齢者の日常生活自立度	自立		8 50.0%
	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない		7 43.8%
	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		1 6.3%
	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する		0 0.0%
	無回答		0 0.0%
	合計		16 100.0%

		度数	列の N %
当時、飲んでいた薬	アリセプト (ジェネリックを含む)	なし	9 56.3%
		あり	6 37.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
レミニール		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
リバスタッチ・イクセロンパッチ		なし	13 81.3%
		あり	2 12.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
メマリー		なし	13 81.3%
		あり	2 12.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
向精神薬		なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
漢方薬		なし	13 81.3%
		あり	2 12.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
その他		なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
飲んでいなかった		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
わからない		なし	9 56.3%
		あり	6 37.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
行方不明前1ヶ月の服薬の変化	新しい薬をもらった	なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
薬の量が変った		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
とくに変化は無かった		なし	9 56.3%
		あり	6 37.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
飲んでいなかった		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
わからない		なし	6 37.5%
		あり	9 56.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
直前1年間の入院	認知症の診断のために入院	なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
認知症の治療のために入院		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
認知症以外の病気や怪我の治療で入院		なし	11 68.8%
		あり	4 25.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
入院はしていなかった		なし	8 50.0%
		あり	7 43.8%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
入院はしたが、詳しくはわからない		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
わからない		なし	11 68.8%
		あり	4 25.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
行方不明時の認知症の診断・疑い	疑いも診断もされていなかった	0	0.0%
	疑いはあったが診断はされていなかった	2	12.5%
	診断されていた	10	62.5%
	わからない	3	18.8%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
現在の認知症の診断	認知症と診断されていない	0	0.0%
	他界している	0	0.0%
	わからない	1	6.3%
	認知症と診断されている	15	93.8%
	無回答	0	0.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
認知症を診断した医師	精神科医	4	26.7%
	神経内科医	2	13.3%
	老年科医	2	13.3%
	1～3以外の認知症に関する専門的な医師	0	0.0%
	その他の医師	5	33.3%
	わからない	1	6.7%
	無回答	1	6.7%
	合計	15	100.0%

		度数	列の N %
認知症の診断名	認知症とだけ診断されている	2	13.3%
	アルツハイマー病	9	60.0%
	脳血管性認知症	0	0.0%
	レビー小体型認知症	1	6.7%
	前頭側頭型認知症	1	6.7%
	その他	1	6.7%
	無回答	1	6.7%
	合計	15	100.0%

		度数	列の N %
認知症の疑いをもった時期	成人前	0	0.0%
	20歳代	0	0.0%
	30歳代	0	0.0%
	40歳代	0	0.0%
	50歳代	0	0.0%
	60歳代	3	18.8%
	70歳代	6	37.5%
	80歳代	2	12.5%
	90歳代～	1	6.3%
	わからない	4	25.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
認知症の疑いをもった年齢	82	1	6.3%
	無回答	15	93.8%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
認知症の疑いから受診までの期間	～1年	5	31.3%
	1～3年	2	12.5%
	3～6年	1	6.3%
	6～9年	0	0.0%
	9～12年	0	0.0%
	12～15年	0	0.0%
	15年以上	0	0.0%
	受診していない	0	0.0%
	わからない	7	43.8%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
当時の受診状況	当時通院していた	9	56.3%
	当時往診を受けていた	2	12.5%
	当時入院中であった	0	0.0%
	受診歴はあったが中断していた	1	6.3%
	わからない	3	18.8%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
当時の受診科	精神科	なし	11 68.8%
		あり	4 25.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
神経内科		なし	12 75.0%
		あり	3 18.8%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
老年科		なし	12 75.0%
		あり	3 18.8%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
1～3以外の認知症を専門とする科		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
1～4以外の科		なし	13 81.3%
		あり	2 12.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
わからない		なし	12 75.0%
		あり	3 18.8%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
FAST	ステージ1	認知機能の障害なし	0 0.0%
	ステージ2	非常に軽度の認知機能の低下	0 0.0%
	ステージ3	軽度の認知機能低下	1 6.3%
	ステージ4	中等度の認知機能低下	0 0.0%
	ステージ5	やや高度の認知機能低下	3 18.8%
	ステージ6	高度の認知機能低下	5 31.3%
	ステージ7	非常に高度の認知機能低下	1 6.3%
		無回答	6 37.5%
	合計	16 100.0%	

		度数	列の N %
認知症の疑いから徘徊が始まるまでの期間	～3年	4	25.0%
	3～6年	0	0.0%
	6～9年	0	0.0%
	9～12年	1	6.3%
	12～15年	1	6.3%
	15年～	0	0.0%
	わからない	9	56.3%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
これまでの行方不明回数	1回	3	18.8%
	2回	1	6.3%
	3回	0	0.0%
	4～10回	3	18.8%
	11～20回	0	0.0%
	21回以上	1	6.3%
	わからない	8	50.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
年間の平均行方不明回数	1	2	12.5%
	3	1	6.3%
	10	1	6.3%
	無回答	12	75.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明になった季節	春	2	12.5%
	夏	2	12.5%
	秋	4	25.0%
	冬	3	18.8%
	複数回答	1	6.3%
	わからない	4	25.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明になった時間帯	0~4時	0	0.0%
	4~8時	0	0.0%
	8~12時	1	6.3%
	12~16時	3	18.8%
	16~20時	4	25.0%
	20~24時	0	0.0%
	わからない	6	37.5%
	無回答	2	12.5%
合計	16	100.0%	

		度数	列の N %
当時の介護者 配偶者	なし	4	25.0%
	あり	11	68.8%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
子	なし	11	68.8%
	あり	4	25.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
親	なし	15	93.8%
	あり	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
その他親族	なし	14	87.5%
	あり	1	6.3%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
ケアサービス従事者	なし	15	93.8%
	あり	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
その他	なし	15	93.8%
	あり	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%
わからない	なし	14	87.5%
	あり	1	6.3%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明になる危機感	感じていた	8	50.0%
	感じていなかった	4	25.0%
	わからない	3	18.8%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明になった場所	自宅から	9	56.3%
	わからない	3	18.8%
	自宅付近から	0	0.0%
	それ以外から	4	25.0%
	合計	16	100.0%

			度数	列の N %
行方不明になった場所 自宅以外の場所	商店など衆人のいる施設内	人通りの多い路上	0	0.0%
		人通りの少ない路上	2	50.0%
		その他	1	25.0%
		わからない	0	0.0%
		合計	4	100.0%

		度数	列の N %
行方不明になった時にしていたこと	散歩などいつも決まった行動中	3	18.8%
	わからない	4	25.0%
	それ以外	8	50.0%
	無回答	1	6.3%
	合計	16	100.0%

		度数	列の N %
行方不明時に一緒だった人	一人だった	なし	11 68.8%
		あり	5 31.3%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%
配偶者と一緒		なし	10 62.5%
		あり	6 37.5%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%
子と一緒		なし	15 93.8%
		あり	1 6.3%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%
親と一緒		なし	16 100.0%
		あり	0 0.0%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%
その他親族と一緒		なし	15 93.8%
		あり	1 6.3%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%
ケアサービス従事者と一緒		なし	16 100.0%
		あり	0 0.0%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%
その他		なし	16 100.0%
		あり	0 0.0%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%
わからない		なし	12 75.0%
		あり	4 25.0%
		無回答	0 0.0%
		合計	16 100.0%

		度数	列の N %
行方不明の兆候	いつもの散歩や外出からの帰りが遅かった	なし	12 75.0%
		あり	3 18.8%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
以前までの仕事を行おうとした		なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
家にいても「帰宅」しようとした		なし	13 81.3%
		あり	2 12.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
落ち着きがなく、歩き回ったりなどしていた		なし	12 75.0%
		あり	3 18.8%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
浴室、寝室、台所など慣れた場所が分からなくなった		なし	13 81.3%
		あり	2 12.5%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
友人や家族の所在をたずねるようになった		なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
趣味や家事をしようとしても、何もできないことがあった		なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
まるで新しい環境にいるような当惑した様子だった		なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
何となくいつもとは違っていた		なし	15 93.8%
		あり	0 0.0%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
全くそのような兆候はなかった		なし	14 87.5%
		あり	1 6.3%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%
わからない		なし	8 50.0%
		あり	7 43.8%
		無回答	1 6.3%
		合計	16 100.0%